

別カ、契合カヲ養フベシ。其ノ他或ハ二字ヲ抱合シ或ハ扁ヲ換
冠ヲ換フル等皆本文ノ組立ヲ據リテ之ヲ擴充スベシ。
教師ハ己ニ教授セシメテ文字ヲ以テ新クナル文ヲ作り或ハ生徒
ニ作ラシメテ活用ヲ教フベシ。殊ニ勸詞ノ類ハ種種ニ勸カセテ
示スベシ。漢字ヲ假名ニ譯シ假名ヲ漢字ニ譯セシメテ活用ヲ
試ムベシ。盤上ニ於テ時時楷行二體ヲ並ニ授ケヨ。始メテ出テ
タル文字ハ皆篆頭ニ提出ス同字ト雖音訓ノ異ナル者ハ再ニ出
タス。本書ノ文ハ漢字ヲ一字ニ字ツソシ漸漸ニ繰返スベク組立
テタリ故ニ初ノヨリ課頭ノ摘字ヲ教ルノ法ヲ用フベカラス。
用言語尾ヲ變スル語ヲ問答スル時ハ必迷リ假名ヲ付クベシ。
世間大人小兒ヲ問ハズ既ニ假名ヲ知リテ而シテ猶十分ニ所
思ヲ記スコト能ハサル者ノ多キハ皆長音拗音ヲ變リ得ル由
由ルナリ。而シテ世ノ讀本往々之ヲ教フルニ答ハルル由ル
アルハ所謂九個ノ功ヲ一實ニ缺クニ近シ。世或ハ此
ニ於テ多量ノ漢字ヲ注ハシテ以テ簡易速成ノ方便ヲ爲
ス。然レテモ硬固ノ物ヲ過食セシムルハ成育ヲ速ク
ニ非ルナリ。教師ハ深ク之ニ注意スベシ。

明治二十一年十一月。

新編 漢字 第一卷 第二


カア
カア
カア
カア
カア



カア サア クフ ユフ
カラス ガ ~~カ~~ カア ト ナク
サア サア メヲ ~~サ~~ ~~ア~~ ~~セ~~
ミンナ ガ アサメシ チクフ。
イチド ニ クフ ガ ヨロシイ。
カラス ハ ユフガタ モナク。
カラス ハ アサユフ ニ ナク。

シヤ ミヤ チヤ キヤ
 オイシヤ ガ オイデ ニ ナツタ
 オイシヤ ハ ミヤクヲ ミル
 ミヤク ハ テクビ ニアル
 コドモ ハ チヤヲ アゲル
 コドモ ハ チヤダイヲ モツ
 オキヤコ ハ チヤヲ ノム

〇 を 〇 に のせる。
 〇 を かぶる。
 しやつ を きる。
 れちや を のみ
 に いらつゝ やい。



The illustration shows a traditional Japanese interior. A person is seated on a tatami floor, possibly engaged in a craft or study. To the left, a ladder leans against a wall, and a table is positioned nearby. The scene is framed by a simple border, and the overall style is characteristic of early 20th-century educational materials.

ニヤア
キヤア
ギヤア
モウ
ポウ
コウ



ウシノニクヲ
ギウニク トイフ。
ウジノチチヲ
ギウニウ トイフ。
ヒトハギウニウ
ヲノミギウニク
ヲクフ。



しゅどゆうくわ
どゆどふ
こどもしゅはひをいぢつて
はなりません。
このくわどはひいぢりから
れこりまゝた。
どゆんさやひけくをごらん。

ひとはなんどふ
にんのますか
ひいぢりすると
しどゆうはくわど
をれこります。
クワジハコハイ
クワシハアマイ



「ようございませう」

「ようございませう」

「よもつを、もつてゆく。」

「あれは、きんぐよのむすめ」

「であります。」

「あれは、きんぐよのちよせ」

「とであります。」

「あのこは、きんぐよ」

「ねんの、けん」

「に、きんぐよ」

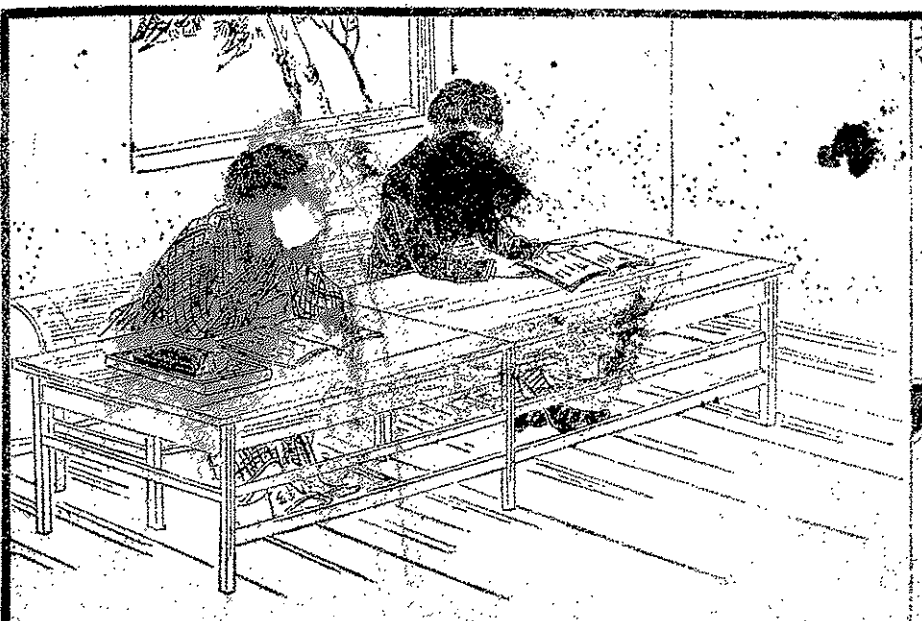
「て、きんぐよ」

「もらひました。」

「シヨウ、チク、バイ。」

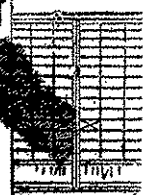
「六せん、コメー」





キヤウギヤウ
シヤウジヤウ
ヤウビヤウ
フタリデベン
キヤウスル。
ヒトリハギヤ
ウギガヨイ。

ヒトリハギヤウギガワルイ。
ギヤウギガワルケレバヤウ
ジヤウニワルイ。
ヤウジヤウガワルケレバ
ビヤウキニナリマシヤウ。
一やうゆ一どよう。やうかん一は
を一める。をたてる。



らう さう かう

ごう ろう よう

たらう さん、なにをなさる。

さうちをいたります。

さうです。か、ごくらうです。

おつか さんは、ごうをさづた。

よう、たしに、ました。

おどなく、くるすゐをします。

うれは、たいらう

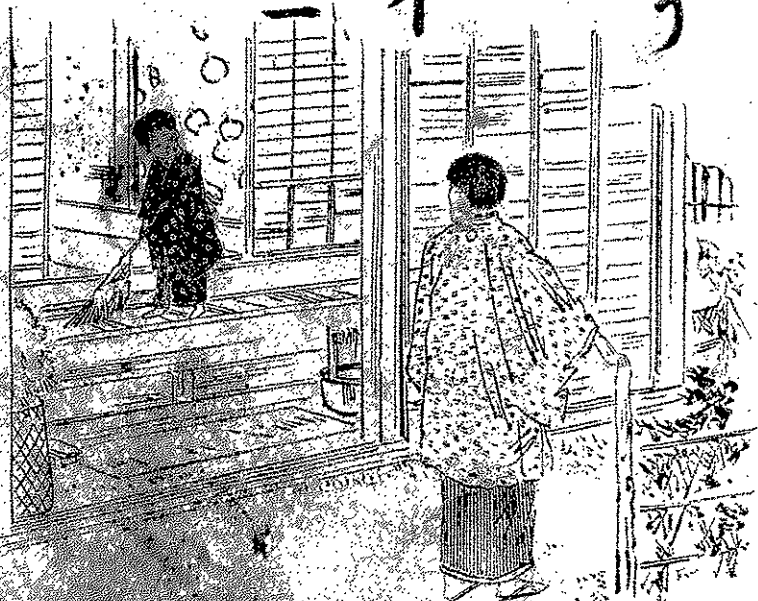
たやかうかうです。

サクジツ、ハ、タイ

ソウ、ゴチソウ、ニ

ナリ、マシ、タ。

ドウゾ、ヨロシク。



けいこ。

ほうり とうり ちゆう ちゆう ちゆう
ちやう たい ぼう ちゆう

わたくしのほうり

あさはん ちゆうはん ゆふはん

あなた ちよつご ちらつーやい

すみ ちやうえ ドやうがくろ 十

たつかはー くださ

おぢやう さんに ぶろーく。

ドやうぶうの さたうー ーせん
うりて くださ

ニせん の たうをす ーつ。

ニせん の ごはうー は。

ちやうちん を はいーやく。

らぶろく を はいーやく。

ありがたう ーん ド ます。

エウ ケフ ゲフ テフ



ゲフ ハ ニチエウ デス。

ガクカウ ハ ヤスミ デス。

クワゲフ ハ ヤスミ デス。

コドモ ハ ガクカウ チ ヤスシ

デ ウンドウ ニ デカケル。

テフテフ トマレヤ、

ナノハ ニトマレ。

けいこ。のぶしうせうれうめう
てふしうせう

けふはにちゆう、きのふは

てあります。

こびやうきはいかがです。

けふはせうせうよるしうこ
ざります。

れうちをなされませ。

せうがこめらがをせうせう
さくあげます。

ちやうだいのしなはさつうく
れうりしとたぶまいた。

かみ十でなで二十二せん。

こめニくぶむぶニくぶまめ
しへんせんくらひんたまいた。

人

アチラヘユクヒト。

コチラヘクル人。

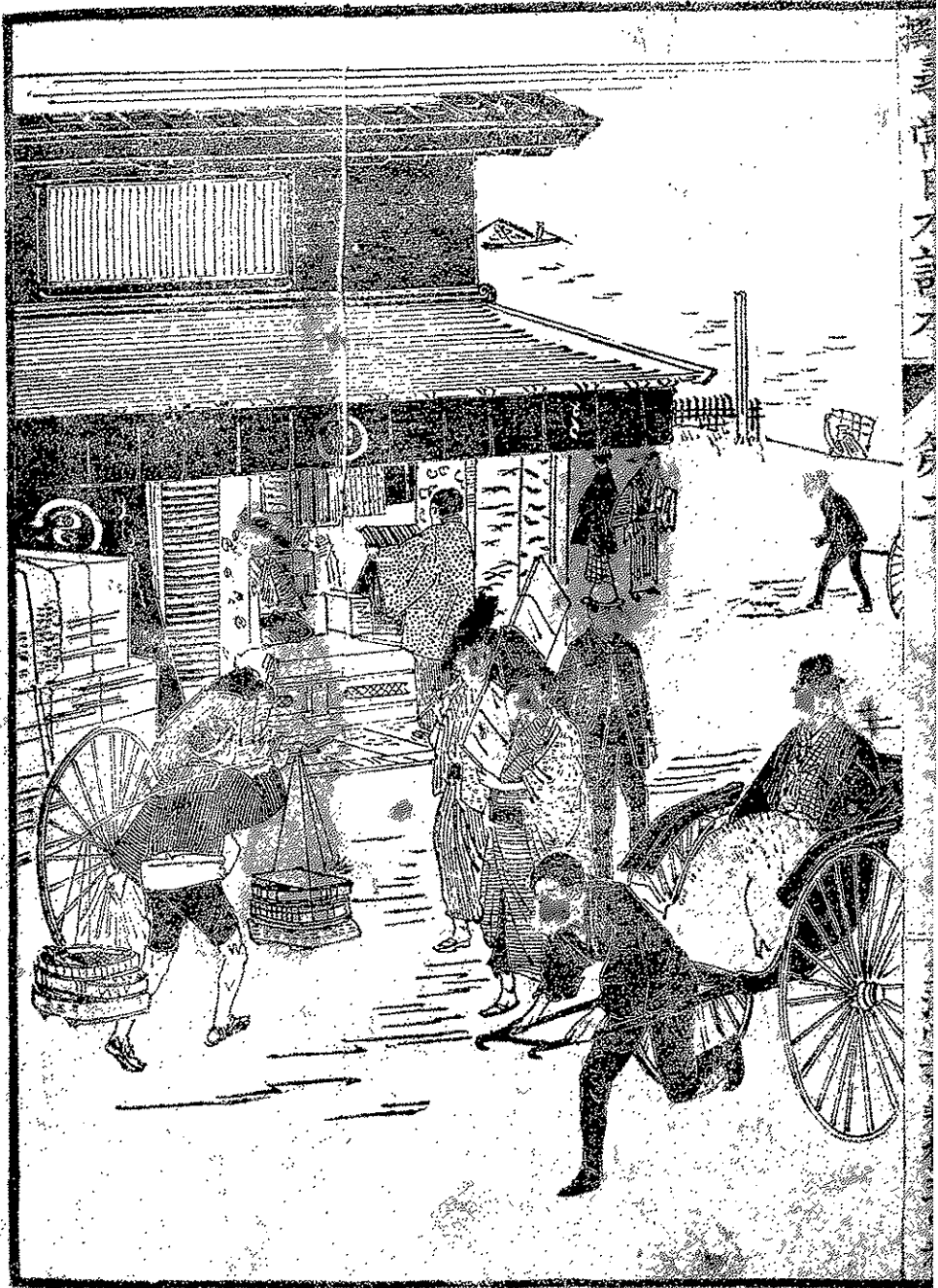
モノチウル人。

モノチカフ人。

クルマヲヒク人。

ニモツヲハコブ人。

イロイロノ人が井ル。





大
 コレハオホキ
 ナダイコシデ
 アリマス。
 コレハ大キ
 ナカブデア
 リマス。

ナゼコレが大キイトオモ
 ヒマスカ。
 コノダイコシハ人ノアシ
 ヨリ大キクアリマス。
 コノカブハ人ノヒサカブ
 ヨリ大キクアリマス。
 この——は大ききを——

犬

大キ ナ イヌ ト

チヒサ ナ 犬。

大キ ナ 犬 ガ

一。ピキ。

チヒサ ナ 犬 ガ

三。ピキ。



人 ハ 犬 ヲ カフ。

犬 ハ 人 ニ カハレル。

犬 ハ ヨク 人 ニ ナレル。

くろ犬 と ね犬 と

こ犬 は ちひさい ね犬 は

ね犬 は ぬす人 に ほゆる。

ぬす人 は ぬす人 に ほゆる。

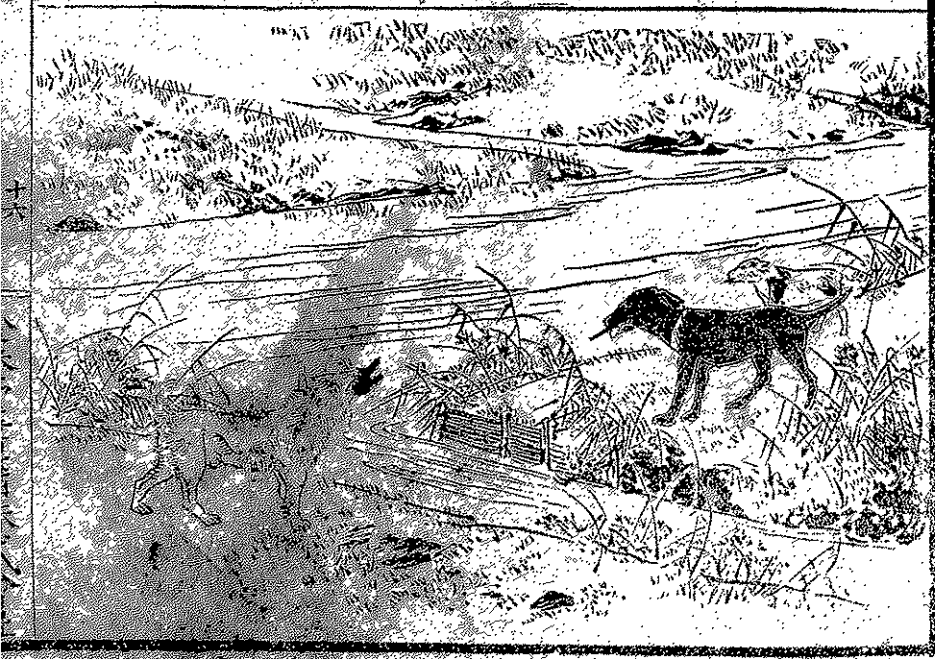


新編 犬ノ言ス

小川

大キナカハトチヒサイ川
大キナ川ノフチニクサ
ガハエテアル。
小サイ川ノフチニモク
サガハエテアル。
小サイクサハセイチヤウシ

テ大キナクサ
ニナル。
小サイ川ハ
アツマリテ大キ
ナ川ニナル。
一はたに
一があるふ。



山 出

大キナヤマト小サイ山。
 タカイ山ニヒクイ山。
 マアデテゴラン。
 ヒハ山カラ出タ。
 カラスハモリヲ出テカ
 アカアトナク。

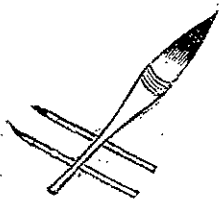
人ハクハヲ
 カタゲテノ
 ニ出ル。
 ついでゆく。
 かけである。





木本
山ニキガ
ハエテアル。
川バタニモ
木ガハエテ
アル。
川バタニマツ

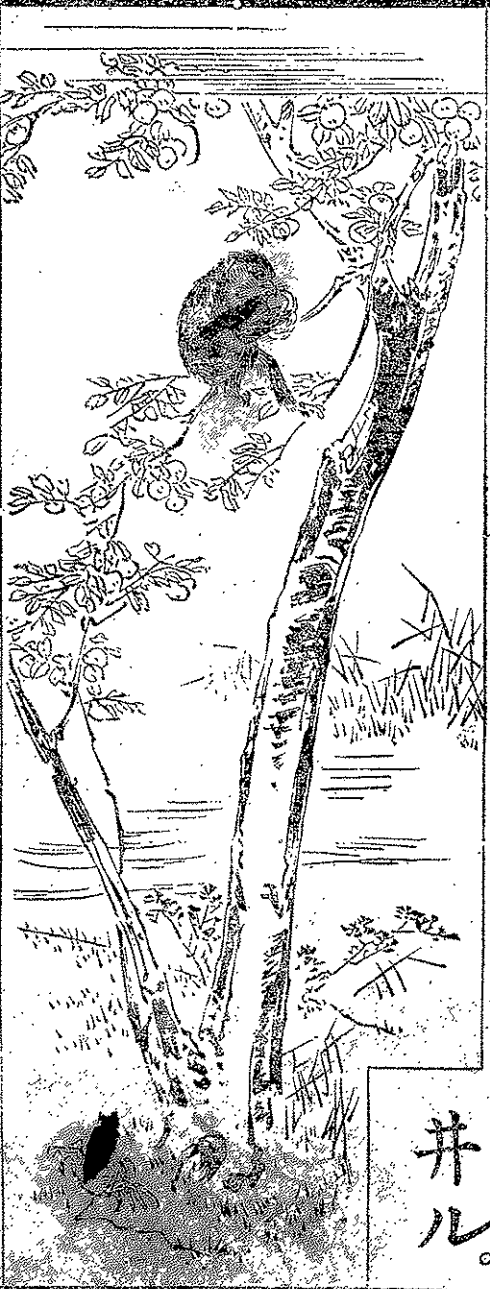
ノ。木ガニホシアル。
二本トモ大キナマツノ
木デアアル。
木ノシタニ本ヲヨム。
タイソウセイガ出マス。



小さなふでが二本
大きな

上 下

木ノウヘニサルガ井ル。
サルハ木ノ上ニ井テ
カキヲクフ。
木ノシタニカニガ井ル。
カニハ下ニ井テ上ヲ
ナガメテ井ル。



カニハ下カラ「サルサシ
ヒトツオクレ」トイフ。
サルハシラヌカホシテ

井ル。



水氷中
 ミツノ上ニ
 コホリガハル
 サムイトキハ
 水ガコホル
 氷リノ下ニ
 水ガアル。

氷リノ上ニ人がスベル
 水ノナカニウヲガ井ル
 ウヲハ水ノ中ニ井ル
 ミンナガ中ヨクアソベ
 うすい氷りはこわれやす
 氷りがこわれると
 中に



モノサシガ二本アル。

小サイモノサシノナガサハ

一スシデアル。

一寸ヲ十ニキザンデアル。

ソレハ一ブツツデアル。

一分ガ十デ一寸ニナル。

大キナモノサシハ一寸ガ

五ツダカラ五寸デアル。

五寸ニツハ一寸デアル。

十寸ヲ一シヤクトイフ。

十一寸ハ一尺一寸デアル。

十二寸ハ一尺二寸デアル。

新編 換算の事ト云フ

ケイコ。

ひかし

ろで

一尺五寸

たけ

二尺三寸五分

ろでぐち

五寸三分

ねぼい

五月十五日

六せん六りん

大ふで

二本

二せん五りん

おんぴつ一本

みやう日セドから山へう

んどうに出かけませんか。

三月二十一日

大山

中川さま

コノヘンジヲカケ。

人 犬 小 川 山 出 木
本 上 下 中 水 氷 日 月
尺 寸 分

ヲハリ。